

## 資料 1

### 職業ガイダンスカリキュラム

この資料は、既卒未就職者、離職者、在職者の3グループについて、グループ専門カリキュラムを掲載したものである。

&lt;グループ専門カリキュラム－既卒未就職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	職業探索ケーススタディ（企業又は工場等の見学）
学習のねらい	実際の企業や工場の職場における仕事を見学することにより、自己の適職への判断、自己における職域の拡大を図ることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 概要説明	見学企業の概要についての説明（企業側から） （企業の特徴、将来展望等）
2. 見 学	実際の職場環境、仕事内容等について見学し、業種・職種の特徴を読みとる。
3. まとめ	見学企業の職場環境、仕事内容等についてレポートを作成する。
使用する主な機器及び教材等	

<グループ専門カリキュラムー既卒未就職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	職業観について
学習のねらい	職業観、勤労観について受講者同志によるディスカッションを行い、他者の考えを知るとともに自分自身の職業観、勤労観を整理し、職業選択や職業活動に対する自覚を深めることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 自由討議	<p>職業活動の意義は、生計を維持すること、自己実現をはかること、社会に参加することの三点にあるといわれており、多くの者はそのことを意識すると否とにかかわらずバランスをとりながら職業生活をしていると思われる。したがって、生計維持、自己実現、社会参加とは何かということを知覚することは職業的満足を得る要素であり、その意義は大きい。そのため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を生かせる職業か、自分が雇われる職業か</li> <li>・内面的な動機を重視するか、外面的な動機を重視するか</li> <li>・仕事の内容か、会社の規模や知名度か</li> <li>・収入を重視するか、自分の専門分野や興味・関心を重視するか</li> <li>・収入よりもやり甲斐のある仕事か、やり甲斐のある仕事よりも収入か</li> <li>・収入よりも社会に役立つことか、社会の評価よりも収入か</li> <li>・年功序列主義か、実力主義か</li> <li>・転職は是か、否か</li> <li>・その他</li> </ul> <p>の各項目を参照して各人の考え方について意見を交換し、他者の考えを知るとともに、自分自身の職業観、勤労観を形成させる。</p>
使用する主な機器及び教材等	

&lt;グループ専門カリキュラムー既卒未就職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	「機会均等」に関する認識付与
学習のねらい	雇用における男女の均等な機会と待遇の確保等の推進を学習することを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 雇用における男女の均等な待遇の確保及び対策の推進  2. その他	(1) 男女の意識および認識の差 (2) 職場における諸問題解消への取組み  (3) 職業生活と家庭生活の両立支援の促進 (4) 女性の再就職等の対策
使用する主な機器及び教材等	

<グループ専門カリキュラム－既卒未就職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	「女子」であることの諸問題解決セミナー
学習のねらい	女性を取りまく関係諸制度、女性と労働、女性の就業環境を学習することにより、女性の適切な職業選択の足掛りを見いだすことを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
<p>1. 女性を取りまく関係諸制度等</p> <p>2. 女性と労働</p> <p>3. 女性の就業環</p>	<p>(1) 男女雇用機会均等法と教育訓練</p> <p>(2) 女子再雇用制度（労働者派遣法、短時間労働者法、育児休業法）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートタイマー</li> <li>・派遣社員</li> <li>・専門的、技術的な職業</li> </ul> <p>(1) 情勢の労働と問題点</p> <p>(2) 就業意識と実態</p> <p>(3) 企業に対する考え方と見方</p> <p>(1) 職業と家庭生活の両立</p> <p>(2) 応募面接などの実現への指導</p>
使用する主な機器及び教材等	

&lt;グループ専門カリキュラム－離職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	転職成功者の選択過程
学習のねらい	現在、離職状況にいる若者が、転職経験者の体験をとおして、転職への準備体制を整え、成功裡に次の職業生活を営めるための能力と知識・心構えを育てることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 離職から現職に移る過程	(1) 離職の原因と離職を決意した時の状況 (2) 現職を探す過程で行ったこと ・ 援助を受けた機関、人、その他 ・ 準備のポイント ・ 心の葛藤 (3) 現職に決めた時の心理的状況 ・ 「重視したこと」、「我慢したこと」
2. 現職に移った後の状況	(1) 成功させたポイント (2) 現職への適応のために努めたこと
3. 後輩への示唆・提言	後輩への示唆・提言
4. 感想文作成	研修者がこの学習から得たことを感想文としてまとめさせる。
使用する主な機器及び教材等	

<グループ専門カリキュラム－離職者>

職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	職業能力の分析
学習のねらい	自分がどんな職業的な能力があり、それがどんな市場的な価値があるかを理解することを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
<p>1. 職業能力の意義</p> <p>2. 職務分析の手順</p> <p>3. 職業能力の評価と獲得法</p>	<p>職業能力とは何かを理解する。</p> <p>(1) 職務遂行能力と職業適性</p> <p>(2) 職務遂行能力と知識・経験</p> <p>(3) 職務遂行能力と教育訓練</p> <p>(4) 資格・検定</p> <p>職務分析の手順を学ぶことを通して、様々な職業に要求されている所要性能や適格条件についての考え方を理解する。</p> <p>職務分析に使われている所要性能や適格条件を活用しながら、自分の職業能力を評価してみる。また、希望するいくつかの職業について、簡便な職務分析を実施して、自分に適性があるかどうかを評価してみる。さらに、より市場価値のある職業能力を獲得するための方法についての情報を探索する。</p>
使用する主な機器及び教材等	職務分析シートなど 概念図、関連図 職業ハンドブック

&lt;グループ専門カリキュラム－離職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	職場体験交流会
学習のねらい	職場体験交流会を通じて職業観の見直しをはかることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 体験交流会のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 職業・就職講話</li> <li>(2) 就職活動におけるグループディスカッション（対人交流技術の付与）</li> <li>(3) 諸先輩の体験談、意見交換</li> <li>(4) 経験者の事例</li> <li>(5) 公共機関主催の体験プラザの参加</li> <li>(6) 事業所見学、意見交換</li> <li>(7) 事業所体験プログラム</li> </ul>
使用する主な機器及び教材等	



<グループ専門カリキュラム－離職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	中途採用者のための諸問題 ～転職のメリットとデメリット～
学習のねらい	転職によっておこる諸変化について理解させ、経済的にも、社会的にも、心理的にも納得のできる転職ができるようにするため、転職のメリットとデメリットについて自覚できることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 転職によっておこる変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 転職はなにをもたらすか             <ul style="list-style-type: none"> <li>・転職のメリットとデメリットの整理</li> </ul> </li> <li>(2) 転職希望の理由             <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由によって異なる対応のしかた</li> </ul> </li> <li>(3) 転職によって変わる労働条件 ～転職で後悔しないために～ カリキュラムモデル「職場適応」および「職場の人間関係」を併用</li> <li>(4) 転職によって変わる生活環境             <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅問題</li> <li>・学校</li> <li>・医療施設、日常消費材等生活環境問題</li> <li>・その他</li> </ul> </li> <li>(5) 成功した転職、失敗した転職のケース</li> </ul>
使用する主な機器及び教材等	

&lt;グループ専門カリキュラム－離職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	職場適応
学習のねらい	職業的満足を得るための条件とは何かということについて理解させることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 就職先の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 就業の重要度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収入はどうか</li> <li>・通勤は便利か</li> <li>・雇用は安定しているか</li> <li>・労働時間はどうか</li> </ul> </li> <li>(2) 仕事の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味、関心に合っているか</li> <li>・能力は発揮できるか</li> <li>・社会的評価、地位が得られるか</li> <li>・仲間と楽しく過ごせることができるか</li> </ul> </li> <li>(3) 自己啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT、OFF-JTは期待できるのか</li> <li>・研修制度は充実しているか</li> </ul> </li> <li>(4) 職場環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務地域はどこか</li> <li>・作業環境は整っているか</li> <li>・ストレスのたまらない仕事か</li> <li>・福利厚生制度と施設はどうか</li> </ul> </li> <li>(5) 適応と評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容が自分に合っているか</li> <li>・自分の過去の経験は生かされるか</li> <li>・能力にふさわしい賃金か</li> <li>・昇進、昇級の機会はあるか</li> <li>・能力にふさわしい権限は与えられるか</li> </ul> </li> <li>(6) その他</li> </ul>
使用する主な機器及び教材等	

<グループ専門カリキュラム－離職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	初職選択について再検討（今の会社を選んだ時の再検討）
学習のねらい	<p>転職を考えている在職者が、初職を選択したことで期待したことのずれを自己点検し、就業の継続と転職についての考え方を整理することを目的とする。</p>
学習項目	学 習 内 容
1. 初職選択について自己分析	<p>初職選択の理由・経緯等についてレポートを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自己の将来像に対する実現度を考える</li> <li>(2) 就業の継続と転職についての考え方を整理する</li> </ul>
使用する主な機器及び教材等	

&lt;グループ専門カリキュラムー在職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	日本的雇用慣行と転職 ～“場”～
学習のねらい	伝統的雇用慣行と今日的雇用形態を解説し、転職が本人にとってどのような意義をもたらすものであるかを理解させる。
学習項目	学 習 内 容
1. 雇用慣行の変化	<p>(1) “場”が重視される社会構造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ “わが社”と“おたく”</li> <li>・ “永年勤続”という雇用慣行</li> <li>・ “永年勤続”に裏づけられた地位と発言力</li> <li>・ 年功序列型賃金と職務給 ～全人契約と労働契約～</li> <li>・ “場”をよりどころとする生活</li> </ul> <p>(2) 変わりゆく雇用慣行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終身雇用制度の変化</li> <li>・ 年功序列型制度の変化</li> <li>・ 主体的キャリア形成の推進</li> <li>・ 他社でも通用する知識、技能、技術の習得</li> <li>・ 職業資格、免許、検定の意義・自己啓発への動機づけ</li> <li>・ 自己啓発への動機づけ</li> <li>・ 自己の評価を知ることの意義</li> </ul>
使用する主な機器及び教材等	

<グループ専門カリキュラム-在職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	転職によっておこる生活上の変化について
学習のねらい	転職によっておこる生活上の変化について、受講者同志によるディスカッションを行うことにより、他者の考えを知るとともに自分自身の生活上の変化について自覚を深めることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 自由討議	<p>転職は、単に働く場が変わるということにどどまらず、賃金、労働時間等の労働条件や仕事の内容について過去の経験の活用の有無、あるいは生活環境をも変えることになる。</p> <p>したがって、それに伴う悩みや不安、欲求不満等が生じる可能性もあり、そのことを充分自覚しておくことが大切である。</p> <p>そのため、</p> <p>(1) ガイダンスカリキュラム「職場適応」あるいは「職場の人間関係」に記した各項目</p> <p>(2) 同「中途採用者のための諸問題 ～転職のメリットとデメリット～」に記した生活環境問題</p> <p>(3) その他 受講者の特性に合わせたテーマを抽出し、各人の考え方について意見を交換し、他者の考えを知るとともに自分自身におこる生活環境の変化について自覚を深める</p>
使用する主な機器及び教材等	

&lt;グループ専門カリキュラム－在職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	生活上の満足・不満足の整理と確認
学習のねらい	職業生活上で自分が満足していること、不満足なことを整理し、見直しをすることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 意見交換	<p>(1) 職業生活上で自分が満足していること、不満足なことを整理して確認するために各自でレポートを作成する。</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>(3) まとめ(各自)</p>
使用する主な機器及び教材等	

<グループ専門カリキュラム-在職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	どうしたら自分を生かせるか ～職場における悩み、不安、欲求不満～
学習のねらい	誰もがもち、かつ多様な職場における悩み、不安、欲求不満を、自らが積極的に解決していくため、悩み、不安、欲求不満の実態、対処のしかたについて考えることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 職場の悩みと不安	<p>(1) 悩み、不安、欲求不満は誰にもある</p> <p>(2) 職場がつくる悩みのいろいろ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用慣行</li> <li>・期待と現実</li> <li>・不適職</li> <li>・人間関係</li> <li>・学歴</li> <li>・漠然たる不安</li> <li>・その他</li> </ul> <p>(3) 職場がつくる欲求不満のいろいろ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活維持のための経済的欲求</li> <li>・仕事から得る満足感に対する欲求</li> <li>・安定と安全に対する欲求</li> <li>・人間関係に関する欲求</li> <li>・社会的地位に対する欲求</li> <li>・帰属欲求</li> <li>・人格の尊重</li> <li>・その他</li> </ul> <p>(4) 悩み、不安、欲求不満にどう対処するか</p> <p>(5) その他</p>
使用する主な機器及び教材等	

&lt;グループ専門カリキュラムー在職者&gt;

## 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	転職を人生にどう生かすか
学習のねらい	転職を経済的にも、精神的にもプラスにするために、転職をする利点があるかを受講者同志によるディスカッションを行うことにより、自覚を深めることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
1. 自由討議	<p>(1) 転職経験者による体験報告と自由討議</p> <p>受講者のうち既に転職を経験している者に、その転職が本人にとってどのような意義をもたらしたかについて体験報告をしてもらい、それに基づいて参加者全員によるディスカッションを行い、転職を成功させるための、あるいは転職によって生じる不利益を最小限にとどめるための心構えを整理する。</p> <p>受講者に転職経験者がいない場合は、転職によって生じる利益、不利益を想定してディスカッションを行ってもよい</p>
使用する主な機器及び教材等	



<グループ専門カリキュラム-在職者>

### 職業ガイダンスカリキュラム

カリキュラム名	キャリア形成のしかた ～生涯教育の必要性～
学習のねらい	長い職業生活の間に必要とされる能力開発と、そのための教育がなぜ必要かという問題を理解させることを目的とする。
学習項目	学 習 内 容
<p>1. 生涯教育の必要性</p> <p>2. 教育機会</p>	<p>(1) 能力開発と生涯教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の主体的キャリア形成の必要性</li> <li>・自己啓発への動機づけ</li> <li>・自己の評価を知ることの意義</li> </ul> <p>(1) 職業能力開発に関する情報、相談援助システムの活用</p> <p>(2) 各種能力開発の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在職者を対象とした短期間訓練の活用</li> <li>・技能検定通信制訓練の活用</li> <li>・職業能力習得制度（ビジネス・キャリア制度）の活用</li> <li>・民間の各種教育機関のセミナー、カルチャーセンターの活用</li> <li>・企業内教育制度の活用</li> <li>・大学公開セミナー</li> <li>・その他</li> </ul> <p>(3) 自己の要求に合わせた能力開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的知識、技能、技術の習得か</li> <li>・最新の知識、技能、技術の習得か</li> <li>・より高度な業務遂行のための資質の向上か</li> <li>・現在の業務に関連する知識、技能、技術の習得か</li> <li>・既に身につけている経験、知識、技能の見直しか</li> <li>・各種職業資格の習得、検定合格が目的か</li> <li>・職場の配置転換に対応するのか</li> <li>・職種転換に対応するのか</li> </ul>
使用する主な機器及び教材等	

## 資料 2

### 職業ガイダンスに関する教材一覧

この資料は、職業ガイダンスに関する教材について、雇用促進事業団配布の図書・ビデオと職業ガイダンスに関連する市販図書を掲載したものである。

## 〔雇用促進事業団配布図書一覧〕

図 書 名	編著者名	出版社名
G-1 採用・解雇・退職	井上克樹	日本生産性本部
2 一般事務関係これで合格	高校就職指導会	有紀書房
3 女子学生就職に勝つ法	女性ビジネス研究会	有紀書房
4 会社訪問・面接の技術	大矢息生	学陽書房
5 コンピュータマンの世界	栗田昭平	ダイヤモンド社
6 日本の会社ベスト75000	東洋経済新報社	東洋経済新報社
7 会社四季報	東洋経済新報社	東洋経済新報社
8 会社四季報 未上場会社版	東洋経済新報社	東洋経済新報社
9 女性の職業と将来性ガイド	自由国民社	自由国民社
10 女性の職業のすべて (89年版)	女性の職業研究会	啓明書房
11 医療専門学校全ガイド ( " )	関口義	啓明書房
12 資格試験のすべて ( " )	資格問題研究会	啓明書房
13 通信教育のすべて ( " )	通信教育研究会	啓明書房
14-1職業ハンドブック (86年版)	日本労働研究機構	雇用情報センター
14-2職業ハンドブック (92年版)(H・3)	日本労働研究機構	雇用情報センター
15 職業読本	雇用職業総合研究所	東洋経済新報社
16 援助する教育	伊東博	明治図書
17 進路指導を学ぶ (H・2)	藤本喜八ほか	有斐閣
18 生涯にわたるキャリア形成と職業指導 (H・2)	吉谷二郎	雇用問題研究会
19 カウンセリングを語る (上)	河合隼雄	創元社
20 カウンセリングを語る (下)	河合隼雄	創元社
21 電話カウンセリングの技法と実際	多田治夫ほか	川島書店
22 わかりやすい男女雇用機会均等法	赤松良子ほか	有斐閣
23 現代若者の職業意識 (H・3)	労働省職業安定局	雇用問題研究会
24 適性・適職発見シート(大学生版) (H・2)	渡辺三枝子ほか	実務教育出版
25 適性・適職発見シート(短学・専門学校生版)(H・2)	渡辺三枝子ほか	実務教育出版
26 エンカウンター (H・3)	国分康孝	誠信書房
27 パイロットになるには	井草隆雄ほか	ぺりかん社
28 スチュワーデスになるには	村上克ほか	ぺりかん社
29 ファッションデザイナーになるには	酒井美代子	ぺりかん社
30 探検家・登山家になるには	黒岩健	ぺりかん社
31 美容師・理容師になるには	松山朋頼	ぺりかん社
32 アナウンサーになるには	北村隆	ぺりかん社
33 マンガ家になるには	呉智英	ぺりかん社
34 船長になるには	平敷勝美	ぺりかん社
35 映画監督・TVディレクターになるには	佐藤忠男	ぺりかん社
36 通訳・通訳ガイドになるには	エ・アイ・ケイ教育情報部	ぺりかん社
37 グラフィック・工業デザイナーになるには	北村晴男	ぺりかん社
38 医師・歯科医師になるには	谷みゆきほか	ぺりかん社
39 看護婦・保健婦になるには	谷みゆきほか	ぺりかん社
40 調理師になるには	辻調理師専門学校	ぺりかん社
41 俳優になるには	森秀男	ぺりかん社

42 保母になるには	田辺敦子	ペリかん社
43 新聞・放送記者になるには	料治直矢ほか	ペリかん社
44 司書・学芸員になるには	金子量重	ペリかん社
45 公務員になるには	栗田晃穂	ペリかん社
46 裁判官・弁護士・検事になるには	野村二郎	ペリかん社
47 工芸家になるには 1	竹内淳子	ペリかん社
48 外交官になるには	大村立三	ペリかん社
49 コンピュータ技術者になるには	寺沢康夫ほか	ペリかん社
50 整備士になるには	横山昇司	ペリかん社
51 学術研究者になるには	工藤昌男	ペリかん社
52 会計士・税理士になるには	菊地香弥	ペリかん社
53 教師になるには	板倉雅夫ほか	ペリかん社
54 作曲家・演奏家になるには	栗田晃穂	ペリかん社
55 カメラマンになるには	田中雅夫	ペリかん社
56 建築技術者になるには	藤岡藤也	ペリかん社
57 作家になるには	野原一夫	ペリかん社
58 栄養士になるには	藤原眞昭	ペリかん社
59 セールスマンになるには	菊地香弥	ペリかん社
60 政治家になるには	大久保昭三	ペリかん社
61 公害防止管理者・環境計量士・ 作業環境測定士になるには	栗山 実ほか	ペリかん社
62 印刷製本技術者になるには	山本隆太郎	ペリかん社
63 弁理士・司法書士・行政書士になるには	斑目俊一郎	ペリかん社
64 編集者になるには	植田康夫	ペリかん社
65 工芸家になるには 2	大塚清吾	ペリかん社
66 秘書になるには	上條逸雄	ペリかん社
67 貿易商社マンになるには	河村幸一郎	ペリかん社
68 漁業技術者になるには	小坏覚	ペリかん社
69 農業経営者になるには	千原信彦	ペリかん社
70 医療技術者になるには	関口義	ペリかん社
71 警察官・消防官になるには	開真ほか	ペリかん社
72 伝統芸能家になるには	佐貫百合人	ペリかん社
73 東洋医療技術者になるには	鎌江真伍	ペリかん社
74 国際協力専門家になるには	井上昭正	ペリかん社
75 コピーライターになるには	片岡弘	ペリかん社
76 声優になるには	高田城ほか	ペリかん社
77 スタイリストになるには	武藤直路	ペリかん社
78 不動産鑑定士・土地家屋調査士・ 宅地建物取引主任者になるには	飯田武爾	ペリかん社
79 幼稚園教師になるには	森上史郎ほか	ペリかん社
80 ツアーコンダクターになるには	鈴木一吉	ペリかん社
81 薬剤師になるには	川瀬清ほか	ペリかん社
82 インテリアコーディネーターになるには	エー・アイ・ケイ教育情報部	ペリかん社
83 スポーツインストラクターになるには	エー・アイ・ケイ教育情報部	ペリかん社
84 社会福祉士・介護福祉士になるには	大橋謙策	ペリかん社

85 中小企業診断士になるには		井上繁	ぺりかん社
86 社会保険労務士になるには		柏木高美ほか	ぺりかん社
87 旅行業務取扱主任者になるには		鈴木一吉	ぺりかん社
88 盲・ろう・養護学校教師になるには	(H・2)	大井清吉ほか	ぺりかん社
89 理学療法士・作業療法士になるには	(H・3)	杉原素子	ぺりかん社
90 美術家になるには		北村由雄	ぺりかん社
91 鉄道マンになるには	(H・4)	J R R 編著	ぺりかん社
92 カウンセリングを学ぶ (新版)	(H・4)	水島恵一他著	有斐閣選書
93 わかりやすいメンタルヘルス	(H・6)	坂本弘	中央災害防止協会
94 (年度配布) 青少年白書			
95 職業紹介用職種別チェックポイント		労働省職業安定局	労働省職業安定局

### 〔雇用促進事業団配布ビデオソフト一覧〕

・産業と職場シリーズビデオ	14巻	雇用情報センター
No. 1 「商社Ⅰ -総合商社-」		(H 1)
No. 2 「商社Ⅱ -総合商社-」		(S63)
No. 3 「電気機器(製造業)」		(S63)
No. 4 「百貨店・スーパー・専門店」		(S63)
No. 5 「一般機械(製造業)」		(H 1)
No. 6 「旅行業・ホテル業」		(H 1)
No. 7 「金融業Ⅱ(証券・保険)」		(H 1)
No. 8 「食料品製造業」		(H 2)
No. 9 「医薬品製造業」		(H 2)
No.10 「自動車製造業」		(H 2)
No.11 「金融機関Ⅰ(銀行)」		(H 1)
No.12 「情報サービス業」		(H 2)
No.13 「出版・印刷・同関連の産業」		(H 3)
No.14 「道路運送業(旅客と貨物)」		(H 3)
・進路選択シリーズビデオ	3巻	雇用情報センター
No. 1 「チャレンジ〈面接〉」		(S63)
No. 2 「ドキュメント〈面接〉」		(S63)
No. 4 「職業を考える-興味・能力・適性」		(H 2)
・職業ガイダンスシリーズビデオ	14巻	雇用情報センター
No. 1 「販売の職業 その1(百貨店、スーパーの職業)」		(S63)
No. 2 「対事業所サービスの職業」		(S63)
No. 3 「医療・保険の職業 その1」		(S63)
No. 4 「医療・保険の職業 その2」		(S63)
No. 5 「販売の職業 その2(営業、セールスの職業)」		(S63)
No. 6 「マスコミ関係の職業」		(S63)
No. 7 「通信の職業」		(S63)
No. 8 「個人・家庭向けのサービス職業 その1」		(S63)

No. 9	「個人・家庭向けのサービス職業 その2」	(S63)
No.10	「事務の職業 その1 (一般的なオフィスの事務)」	(S63)
No.11	「事務の職業 その2」	(S63)
No.12	「コンピュータ関連の職業」	(S63)
No.13	「デザイン・広告の職業 その1」	(S63)
No.14	「金属切削・加工の職業」	(S63)
No.15	「機械技術・組立の職業 その1」	(S63)
No.16	「機械技術・組立の職業 その2」	(S63)
No.17	「繊維加工の職業」	(S63)
No.18	「印刷製本の職業」	(S63)
No.19	「食料品製造の職業」	(S63)
No.20	「建設の職業 その1」	(S63)
No.21	「建設の職業 その2」	(S63)
No.22	「運輸関連の職業 その1」	(S63)
No.23	「運輸関連の職業 その2」	(S63)
No.24	「福祉・社会サービスの職業」	(S63)
No.25	「教育の職業」	(S63)
No.26	「動物対象の職業」	(S63)
No.27	「販売の職業 その3 (営業、セールスの職業)」	(S63)
No.28	「販売の職業 その4 (販売、配達の職業)」	(S63)
No.29	「デザイン・広告の職業 その2」	(S63)
No.30	「木材、紙の製造・加工の職業」	(S63)
No.31	「コンピュータ関連の職業 その2」	(H 3)
No.32	「運輸関連の職業 その3」	(H 3)
No.33	「デザイン・広告の職業 その3」	(H 3)
No.34	「職業選択ガイド編ーよりよい職業選択のために」	(S63)

・新・職業ガイダンスシリーズ

No.35	「職業ガイダンス」インデックスビデオ	(H 6)
No.36①	「福祉の職業」	(H 4)
No.37②	「福祉・社会サービスの職業」	(H 5)
No.38③	「医療・保険の職業 その1」	(H 4)
No.39④	「医療・保険の職業 その3」	(H 4)
No.40⑤	「教育の職業」	(H 4)
No.41⑥	「医療・保険の職業 その2」	(H 5)
No.42⑦	「販売の職業 その1」	(H 5)
No.43⑧	「コンピュータ関連の職業」	(H 5)
No.44⑨	「建設の職業 その1」	(H 5)
No.45⑩	「建設の職業 その2」	(H 6)
No.46⑪	「事務の職業 その1」	(H 6)
No.47⑫	「事務の職業 その2」	(H 6)

・その他のビデオ

No.44	「一般職業適性検査・職業レイネステストビデオマニュアル」	(H 5)
-------	------------------------------	-------

## 〔職業ガイダンス関連市販図書一覧〕

図 書 名	編著者名	出版社名
総務庁の行政監察結果からみて 婦人就業対策等の現状と課題 働く女性の実情 中途採用の実態 現場からの職業案内 人間性と人格の理論 女の労働	総務庁行政監察局 労働省婦人局 労働大臣官房政策調査部 芝田進午 芝田進午 竹中恵美子監修 関西婦人労働問題研究会	大蔵省印刷局 大蔵省印刷局 大蔵省印刷局 有斐閣 青木書店 ドメス出版
現代労働市場の理論 婦人の賃金と福祉 多層化するホワイトカラーのキャリア -変わる企業の人材管理- 生協 21世紀への挑戦 新時代の女子労働 男女雇用機会均等法の軌跡 働く女性の実情 男女雇用平等法論 日本労働婦人問題 キャリアダイミックス 働きつつ 育てつつ 賢い女性の会社選び 仕事探しは恋人探し 近代日本女性史への証言 明日の社会と職業選択 就職-大学生の選職行動- 女性解放の構図と展開 チャレンジはおもしろい 大正期の職業婦人 ドキュメント 転職 自分史としての婦人教育 産業人類学序説 -工業化と変容- 現代の職業と労働 労働者保護法 婦人工場監督官の記録(上・下) 勤務時間制・交代制 労働時間短縮への提言 資格は人生をつくる	竹中恵美子 竹中恵美子 佐野陽子 野村秀和(編) 高橋久子 労働省婦人局 朝倉むつ子 帯刀貞代 エドガ、助イ 働く母の会編 関幸雄 組織情報研究会 「歴史評論」 穴戸寿雄 中西信雄・麻生識・友田泰正 一番ヶ瀬康子 金森ト江 村上信彦 転職研究会編 婦人教育のあゆみ研究会 十時厳田	日本評論社 創元社 (財)高年齢者雇用開発協会 大月書店 学陽書房 (財)21世紀職業財団 ドメス出版 ドメス出版 白桃書房 ドメス出版 講談社 はまの出版 ドメス出版 ダイヤエン社 有斐閣 ドメス出版 ドメス出版 ドメス出版 光書房 ドメス出版 世界書院
35からの羽ばたき術 30からの「転職」虎の巻	八木正 片岡昇・本多淳亮・沼田稻次郎 谷野せつ子・北川誠編・解説 (財)労働科学研究所 労働時間問題研究会 イリ環境事業 黒沢貞次 松崎陽子 森下一乗	誠信書房 青林書院 ドメス出版 (財)労働科学研究所出版 第一書林 理工図書 大和書房 日経通信社

もう一度外で働きたい	神野栄子	K・Kロングセラーズ
コンピュータと人間の共生	(財) 情報科学国際交流財団	コロナ社
その気しなければ7-ウェイ	松兼功	ミネルビア書房
これから婦人雇用	婦人雇用問題調査会	学陽書房
日本の雇用-21世紀へ向けて-	島田晴雄	ちくま書房
変わる日本型雇用	高梨 晶	日本経済新聞社
日本の雇用システム	小池和男	東洋経済新報社
-その普遍性と強み-		
失業 不況合理化の最前線から	鎌田 慧	ちくまぶっくす
パートタイム雇用の現状と課題	労働省婦人少年局	日本労働協会
ぼくは本屋のおじさん	早川義夫	晶文社
包丁一本がんばったねん	横本憲一	晶文社
みんな八百屋しなれ	長本光男	晶文社
輸入レゴ商売伝来	岩永正敏	晶文社
ふだん着のファッションができた	津野いづみ	晶文社
ぼくのペンションは森のなか	加藤則芳	晶文社
花屋になりたくない花屋	河田はな絵	晶文社
がらくた雑貨は夢宇宙	長谷川義太郎	晶文社
子供の本屋 全力投球	増田喜昭	晶文社
アウトドアショップ風まかせ	油井昌由樹	晶文社
女が働くこと	西清子	ドス出版
女性ネットワーク論	金森トシエ・天野正子	有斐閣
新・女子労働論	藤原高子・久場嬉子	
改定生涯能力開発をめざして	竹中恵美子	有斐閣
-これからの人材育成-	労働省職業能力開発局編	(社)雇用問題研究会
生涯にわたるキャリア形成と職業指導	吉谷次郎	(社)雇用問題研究会
職業選択の理論	J. H. ホランド著	(社)雇用問題研究会
	渡辺三枝子・松本純平	
	館暁夫	